

平成27年4月の優しさ通信

膝関節症



変形性膝関節症などひざが痛む疾患は、関節で骨と骨をつなぐ軟骨がすり減るのが原因。加齢による場合が多く、患者の大半が高齢者です。

加齢により主に中高年で多いのが変形性膝関節症です。自覚症状のある人は約1000万人、潜在的な患者数は約3000万人の上っています。

膝の人工関節手術は年間8万人近くと、10年前から倍増しています。

(2015年3月4日 日本経済新聞記事から抜粋)

心臓弁膜症



心臓の弁の障がいや弁が狭くなったり、血液が逆流したりする心臓弁膜症の患者が増えています。心臓には血液の逆流を防ぐため、大動脈弁、肺動脈弁、僧帽弁、三尖弁の4つの弁があります。弁の閉まりや開きが悪くなり、血液の通過障がいや逆流などが起きるのが心臓弁膜症です。長年放置すると心臓に負担がかかり、最悪の場合、心不全を起こす危険もあります。国内の弁膜症手術数は年々増加し、2012年は約18,900件で、心臓大血管手術のほぼ3割を占めます。大動脈弁置換術の院内死亡率は2.0%と10年間で半減しました。

(2015年3月4日 日本経済新聞記事から抜粋)

重症向け病床 初の減少 昨年10月時点 厚労省、要件厳しく



全国の病院にある重症患者の入院を想定したベッド（病床）が、初めて減少に転じたことがわかりました。病院の増収が見込める重症向け病床は、年1万～2万床のペースで増えていきましたが、厚生労働省の調査では昨年4月から同10月までの約7か月間で14,000床減りました。医療費を削減するため、厚労省が重症向け病床の要件を厳しくした影響とみられます。

(2015年3月5日 日本経済新聞記事から抜粋)

健康な爪を保つためには

安易な自前の施術、避ける 異変があれば受診、癌など潜むことも



爪の周囲を保湿する：ネイルオイルやクリームを使い、爪を作り出す細胞が集まる爪母を中心に保湿。

☆ 美しく見える切り方：10本の指の爪の長さを揃える。爪1本1本を左右対称に切る。

☆ サロンで甘皮のケアをする：甘皮の下から爪表面を覆う余分な角質を取り除いてもらう。

☆ 爪の長さは0.5mmくらい白い部分を残す方が良い。

健康な爪とは：色がピンク。適度にカーブ。表面がツルツル。濁りがない。つやがある。

こんなときは皮膚科で受診を

ほくろの癌：爪に縦の黒い線が入り、まだらになり広がる。

ひょう疽：爪のまわりが赤く腫れ、激しい痛みがある。

有棘細胞癌：爪が割れて、間にぼこぼこした肉塊ができる。

カンジダ症：爪が白く濁り、爪の廻りが痛痒い。

(2015年3月7日 日本経済新聞記事から抜粋)

ヘルペスウイルスと上手につきあうには



免疫力をアップ：過度のストレス、運動不足、栄養の偏り、などを改善し、免疫力低下を防ぐ。

早めの薬物治療を：発疹、神経の痛みなどでQOL（生活の質）が低下したら、早めに薬物治療を開始。

大人のワクチン接種：大人の水痘ワクチン接種は、ウイルス再活性化による带状疱疹の予防にもなる。

妊婦は主治医に相談：妊娠したらサイトメガロウイルス抗体の検査について主治医と相談。

(2015年3月28日 日本経済新聞記事から抜粋)



年金負担 重い日本の現役 給付水準も世界で見劣り

国名	高齢者支援率（人）		総所得代替率（%）
	2012年	2050年	
英国	3.5	2.2	32.6
日本	2.4	1.3	35.6
米国	4.4	2.5	38.3
韓国	5.6	1.4	39.6
ドイツ	2.9	1.5	42.0
オーストラリア	4.3	2.5	52.3
ギリシャ	3.2	1.5	53.9
スウェーデン	3.1	2.3	55.6
フランス	3.3	2.0	58.8
イタリア	2.9	1.5	71.2
オランダ	3.7	1.9	90.7

※高齢者支援率：年金世代1人を何人の現役世代で支えるか

※総所得代替率：年金給付の水準を示す指標。給付開始時の年金額がその時点の現役世代の平均収入と比べてどの程度あるかを示す

(2015年3月30日 日本経済新聞記事から抜粋)

介護大手、相次ぎ賃上げ — 深刻な人手不足改善

報酬改定分に上積みも



介護サービス事業者が4月以降の賃上げに動いています。深刻な人手不足の解消につなげる狙いで、主要12社だけで10万人弱が対象になります。

4月の介護報酬改定で事業者に渡される原資を数千円上回る賃上げに踏み切ったり、調理や送迎など周辺スタッフまで賃上げ対象にしたりする動きが出ています。介護では2009年以来の大幅な賃上げになりそうです。(2015年3月31日日本経済新聞記事から抜粋)



テーマは「**優しさ**」住まいの福祉について考えます。 優しさ通信NO. 4
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

※介護報酬 サービスごとに国が決定

：介護サービスを手掛ける社会福祉法人や企業が介護保険制度で受け取る報酬を指す。個々のサービスごとに国が報酬額を決める。

介護報酬は、3年に1度厚生労働省が審議会での議論を経て見直している。

新しい介護報酬では、総額を2.27%引き下げ一方で、職員の月給を1人当たり12,000円引き上げるための原資を加算する。

介護職員の給与は、産業平均の7割程度。

介護保険の財源のうち、利用者本人の負担は1割。残りは国と地方が集めた税金と40歳以上の個人や企業が負担する保険料で賄っている。

介護費用は、介護保険制度が始まった2000年度は3.6兆円だったが、2014年度は約10兆円に膨らむ見込み。

(2015年3月31日日本経済新聞記事から抜粋)



今月の福祉用具 - 排泄関連用具 その3

排泄用具選択のための考え方

排泄に困難がある場合に、できることは続けるように心がけ、できなくなってきたことにも、トレーニングなどで回復が図れないか、医療的な処置や治療による改善も含めて自立の方向性を探ります。

本人の身体機能に注目することと、介護が必要な場合は、介護者はだれか、どれだけの介護力があるかを把握します。

トイレまで行けるか、座位がとれるかなどが用具を選択するポイントとなります。

①尿意・便意があるか ②用具使用の認知ができるか ③座位が保てるか
④ベッドから自分で離れられるか ⑤トイレまでの移動が可能かなどでトイレでの排泄を考えます。

移動の介助、衣類の着脱、後始末、介護者の有無、トイレ改修の必要性など、本人や家族の生活を細かくチェックすることが必要です。

(参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキストより)

